

静岡県伊豆市で少子化問題の解決に取り組む、伊豆市企画財政課の三須博之氏、村上彩乃氏とマリッジ(株)(仙台市)の前田光子マネージャー兼マリッジコンサルタントが鼎談。婚姻数や出生数の減少という社会課題を解決する一助として、マリッジの「一年成婚サポート事業」を導入した経緯と成果、今後の活動方針について話を聞いた。

前田 婚姻数及び出生数の減少による少子高齢化の加速は、全国的にも喫緊の課題となっています。伊豆市の現状や課題をお聞かせください。

三須 当市の2023年度の婚姻率は人口1000人あたり1・9件で、静岡県内35市町の中で32番目でした。また、合計特殊出生率は1・27で、同じく31番目と、いずれも県内の中で低い水準でした。高齢化も進み人口構造

の変化は当市においても解決が急がれる社会的課題です。

一方で、結婚や妊娠・出産は個人の価値観に関わる問題で、自由な選択が最優先されるものと考えています。若い世代が抱く結婚や出産に対する希望を実現できる社会づくりや、子育てしやすい生活環境の整備など、出会いから結婚、出産、子育てまで、地域の実情や課題に則した切れ目のない支援を行っています。



マリッジ(株)
マネージャー

前田 光子 氏

まえだ・みつこ 1969年生まれ、東京都出身。東北学院大学卒業。(株)ソニーファイナンスインターナショナルで金融関連業務に従事。現在はマリッジ(株)のマネージャー兼マリッジコンサルタントとして婚活支援を行っている。

「おせっかい」役を専任コンサルが担う

前田 地方自治体の婚活支援は婚活パーティーの実施が主流ですが、伊豆市は24年度より弊社の「一年成婚サポート事業」を導入されています。導入に至った経緯をお聞かせください。

三須 本市は22年度より本格的な婚活支援に着手し、民間事業者と連携して、修善寺温泉などで婚活イベントを実施してきました。24年度までの3年間で参加者は192名で、そのうち82名がマッチングしており、出会いの場というメリットはあると考えています。しかし地域柄なのか異性とのコミュニケーションに不安のある方も多く、参加者の背中を押してくれる「おせっかい」役を望む声も多く寄せられました。そこでマッチングした方には会場で1回目のデートの日程を決めてもらうなどのお世話も行っています。それでも交際や成婚にはなかなか結びつかず、イベ

ント後のフォロー体制に課題が見えてきました。また、婚活イベントで顔見知りにお会いすることを不安に思ったり、市職員に見られることへの抵抗感から参加を躊躇してしまう、という意見もありました。こうした課題への対応も含め、今後の婚活事業の方向性を模索していたとき、マリッジさんの「一年成婚サポート事業」を知りました。利用者には専任のコンサルがジュがついてさまざまな「おせっかい」をしてくれる事業内容は、伊豆市の婚活支援にぴったりだと思いました。

前田 伊豆市では、2024年度に10名がこの事業を利用して、2名が1年以内にご成婚されました。

三須 「二年成婚」というインパクトのあるワードと、利用者が平均6・9カ月で成婚するというマリッジさんの事業実績は、訴求力もあります。来年度は国の地域少子化対策重点推進交付金を活用しながら、結婚を希望する方たちの素敵な出会いの一助になるよう、我々も寄り添っていきたいと考えています。

The 地方創生

一年成婚サポート事業を導入し婚活支援

伊豆市総合政策部企画財政課

前田 「一年成婚サポート事業」は他の自治体の施策と比べ、どのような特徴や工夫があるとお考えですか？

三須 全国約15・6万人という日本最大級のデータベースの中から相手探しができること。そして利用者1名に対して専任のコンシェルジュが1名ついていただけることですね。伴走者とともに婚活ができる点は大きな特徴だと考えています。気軽に相談できる体制が確立しており、プ

初期費用は伊豆市が負担

前田 伊豆市は、入会時に必要な初期費用20万円を市が負担する仕組みですね。

三須 はい。利用者は月会費1万6500円のみで活動できる市独自のコースとなっています。プロのサポートを受けながら婚活できる体制を整え、結婚への第一歩を支援したいと思っています。

前田 村上さんは25年4月から担当されています。実際にやってみて感じたことはありますか？

村上 一年で成婚



伊豆市 総合政策部企画財政課 総合戦略スタッフ、主任

三須 博之 氏

みす・ひろゆき 1982年静岡県生まれ。大学卒業後、民間会社で14年勤務を経て2018年伊豆市役所入庁。3年間都市計画課で景観業務に従事。2021年から企画財政課で婚活支援に携わる。

前田 コミュニケーション力が向上するなど、婚活への姿勢がパージョニアップする方が多いですね。2年目に延長して成婚するケースもあります。実際にこの事業を利用された方々の反応はいかがでしょう。

前田 三須 マッチングアプリに登録したり婚活パーティーに参加したけれど「自分には合わなかった」という方もいらっしゃるでしょう。そういう方にぜひ「一年成婚サポート事業」をご検討いただきたい。サービス内容がほかとは異なり、短い期間で出会えるチャンスがあると思います。この事業を通じて「結婚したい」を応援したいと思っています。

口視点によるアドバイスも個別にいただけるので、安心して婚活できると思います。また、希望に沿った相手も毎月2名まで紹介してくれること、お見合い後のプレ交際や真剣交際に期限を設けることで結婚相手という認識で向き合える点など、文字通り「一年成婚」を可能にする要素が充実しています。プロのカメラマンがプロフィール写真を撮影してくれることも、重要なポイントだと思います。

前田 コミュニケーション力が向上するなど、婚活への姿勢がパージョニアップする方が多いですね。2年目に延長して成婚するケースもあります。実際にこの事業を利用された方々の反応はいかがでしょう。

今年度も現時点で9名が利用（うち1名成婚）されており、マリッジさんからの報告をいただきながら活動を見守っていきたいと思います。思い描くライフスタイルが多様化し、出会いの形も多様になっています。婚活イベントを出会い支援の入り口と意識醸成の場と捉え、そこから本気で婚活をしたい方に「一年成婚サポート事業」での結婚支援につなげる仕組みを検討したいと考えています。

前田 この事業を通して、地域のほかの社会課題、例えば地域活性化や若年層の定住促進などへの波及効果は期待されていますか？



伊豆市 総合政策部企画財政課 総合戦略スタッフ、主事

村上 彩乃 氏

むらかみ・あやの 2003年静岡県生まれ。商業高等学校卒業後、2022年伊豆市役所入庁。市民部税務課などを経て、2025年4月から総合政策部企画財政課勤務。